

平成27年度事務事業評価の概要について

1 事務事業評価について

事務事業評価は、平成21年度の事業仕分け、平成22年度の補助金の見直し、平成22年度から平成24年度までの事務事業評価により、市長部局の167事業に対する評価が一巡しました。

平成25年度からは二巡目となる事務事業評価を実施しており、市長部局の163事業を対象に、前回の事務事業評価の指摘事項に対するその後の改善状況や事業の課題等について、複数年かけて検証することとしています。

2 今年度評価対象事業

39事業（H26は43事業）

3 評価の視点

- (1) 必要性、妥当性、公平性や成果に対する評価、他市同種事業との比較の視点などから改めて事務事業を分析・点検する。
- (2) 前回の評価等において今後検討することとなった事項や目標とした数値について、前回評価結果との比較などを通じ、その後の取組み内容を検証する。

4 評価の経過

平成27年8月6日まで

- ・所属長による1次評価

各課において事務事業評価シートを作成し、所属長による1次評価を実施した。

平成27年8月25日（火）、26日（水）

- ・行財政改革推進会議委員（内部職員）による2次評価

対象とした全39事業についてヒアリングを行い、2次評価を実施した。

平成27年10月27日（火）、28日（水）

- ・有識者による3次評価（外部評価：評価者2名）

今年度評価対象事業のうち、市に裁量の余地のある事業や第三者の意見を伺う必要があると判断した事業を10事業選定し、3次評価（外部評価）を実施。

5 対象39事業の今後の方向性

	廃止	継続	見直し	重点化	合計
今後の方向性	0	25	11	3	39

※この方向性に基づき、各所属所において事業の改善等に努めるものとします。